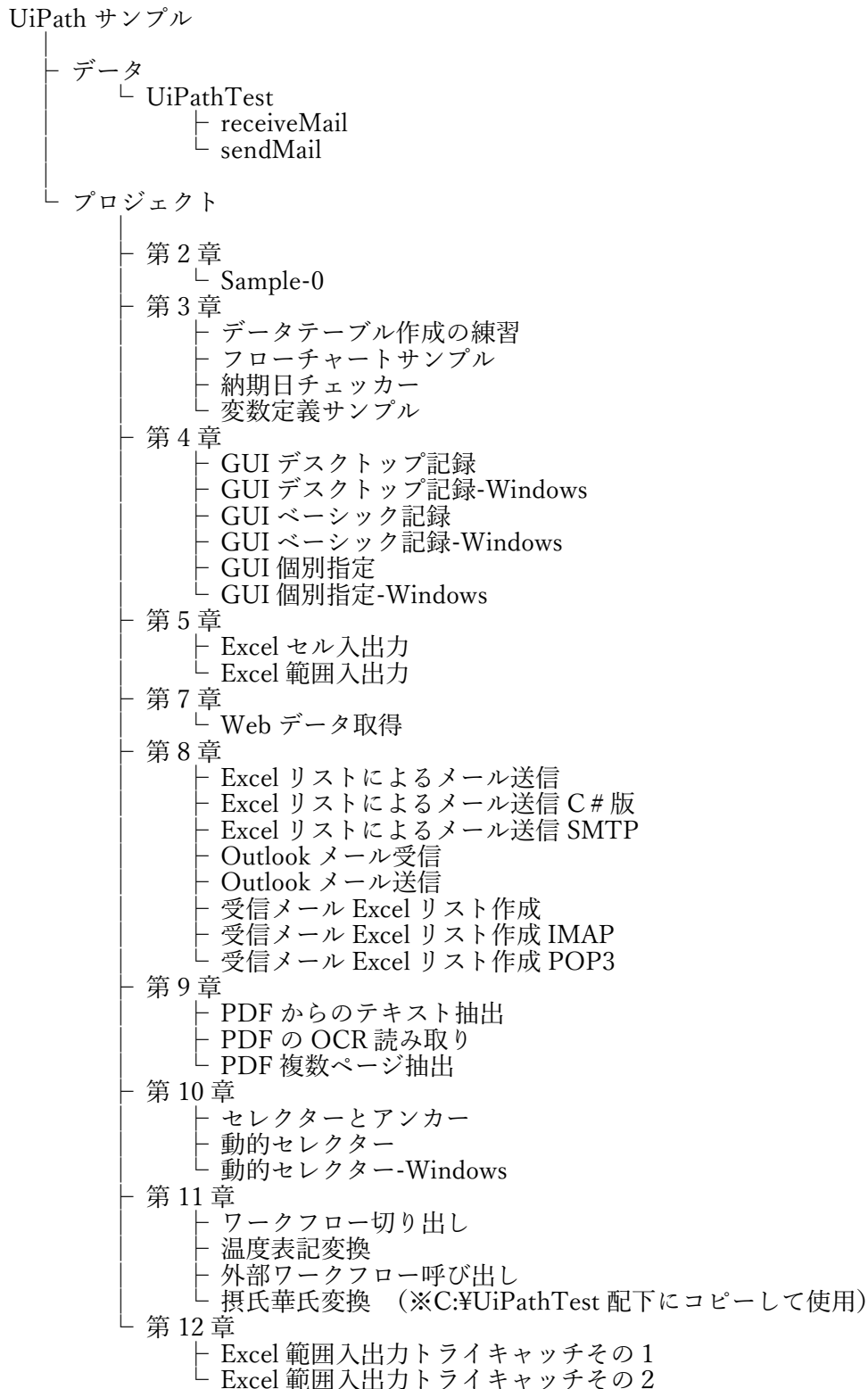


■ サンプルファイルの説明

この ZIP ファイル (UiPath サンプル.zip) は『UiPath 実用入門 (技術評論社発行；株式会社ティージェイ総合研究所 奥井康弘著)』のサンプルファイルです。これは、PC 上のどの場所に展開していただいても構いません。

「UiPath サンプル.zip」を展開したフォルダー構成は以下のようになっています。



「プロジェクト」フォルダーにはワークフローのプロジェクトのフォルダーがそれぞれの章ごとに入っています（なお、『UiPath 実用入門』では、説明を進める中で、条件分岐を入れたり、一旦配置したアクティビティを無効化したり、データ型を変えたりするなど、同じプロジェクトのワークフローを修正しながら説明しているものもありますが、サンプルに入っているワークフローは、『UiPath 実用入門』の各章の説明に従って作った最終的なワークフローになっています）。

「データ」フォルダーの中には「UiPathTest」フォルダーがあり、本書でワークフローを作成するときに使うファイルが入っています。これを C ドライブ直下にコピーして「C:¥UiPathTest」を作れば、『UiPath 実用入門』で作成するワークフローでそのまま読み込むことができます。

【個別の注意事項】

- 第 7 章の「Web データ取得」と第 10 章の「セレクトーとアンカー」を実行する前に、必ず「7.1.1 IE 以外のブラウザを利用するための設定」と「7.1.2 Chrome でローカルファイルを開くための設定」で説明されている設定を行い、Chrome が扱えるようにしてください。
- 第 8 章のメール送受信関連のプロジェクト、サンプルファイル（メール送付リスト.xlsx）では、メールアドレスやサーバー設定に関する部分に実際の値を入れていませんので、本書の手順でご自身のメール環境の設定値を入れてお使いください。
- 第 11 章で、C:¥UiPathTest にプロジェクト「摂氏華氏変換」を作成しますが、すでにそのフォルダーがあると、同名のプロジェクトが存在するということで新規プロジェクトを作成できません。このため、「UiPath サンプル¥データ¥UiPathTest」には「摂氏華氏変換」フォルダーを入れていません。
その代わり「UiPath サンプル¥プロジェクト¥第 11 章」に入れてあります。11 章での操作を自分で行わずに「外部ワークフロー呼び出し」のテストだけ行いたい場合は、この「摂氏華氏変換」フォルダーを C:¥UiPathTest にコピーしてご利用ください。
- 第 11 章の「ライブラリ呼び出し」プロジェクトは、「11.2.3 ライブラリのインストール」で説明する設定とインストールを行う必要があるため、サンプルファイル「UiPath サンプル.zip」には含まれていません。

【Windows10 Home エディションでの不具合対策を施したプロジェクト】

(追記：2022.01.28、2022.05.06)

※UiPath Studio 2021.10.4 を Windows10 Home エディションで動かしたときに見られたこの不具合は、UiPath Studio 2022.4 へのバージョンアップによって解消されましたが、本書に関するサポートの履歴として、また、Windows モードによるプロジェクト作成のサンプルとして資料に残します。

「UiPath サンプル」にも Windows モードで作成した4つの「**-Windows」プロジェクトを残してあります。

UiPath Studio 2021.10.4 を Windows10 Home エディションで操作したとき、デスクトップアプリケーションの「メモ帳」の操作を自動化するアクティビティの作成および実行で不具合が起き場合があります。末尾に「-Windows」が付いた次のサンプルプロジェクトは、別資料「Windows10 Home エディションでの不具合対策.pdf」で説明した対策を施したものです。

第4章

- ・GUI 個別指定-Windows
- ・GUI ベーシック記録-Windows
- ・GUI デスクトップ記録-Windows

第10章

- ・動的セレクター-Windows

以上